

21世紀COE「京都大学化学連携研究教育拠点」外国人講演会報告書

合成・生物化学専攻 吉田潤一

研究集会名：21世紀COE講演会

講師：Dr. Ian R. Butler (University of Wales, Bangor, UK)

演題：Metallocenes in Material Science - A Personal Perspective -

日時：平成18年1月19日（木）16:00-17:30

場所：（A2-308号室）

総参加者概数：約30名（教員4名、研究員・大学院生・学部生約25名）

主な参加者：吉田潤一、村上正浩、依光英樹、中尾佳亮

講演内容：

Butler 博士は、有機金属化学・材料化学の研究者であり、フェロセンを利用した有機材料や触媒反応のための配位子の開発を行っている。自身の開発したフェロセン骨格を有する二座ホスフィン配位子の合成方法、触媒反応への利用について述べ、その有用性を示した。

講演会の様子：

